

みんなが知りたい内視鏡の話



東京女子医科大学八千代医療センター
内視鏡科 光永 篤

本日は食道から大腸までの検査に使われる様々な内視鏡ならびにその検査方法についてお話しさせていただきます。

内視鏡検査について

内視鏡検査（俗に胃カメラなどと言われますが）と聞くと「苦しい」というイメージがまず頭に浮かぶ人も多いのではないのでしょうか？確かに内視鏡検査はお世辞にも楽な検査とは言えません。しかし、レントゲン検査に比較し診断能が高く、直接病気の部分から細胞を検査する（生検と呼んでいますが）ことができるので、最終診断を行うことが可能な必須の検査であることは紛れもない事実です。皆様方は市の健診で行われるレントゲン検査で異常が指摘されると、諦めにも似た気持ちで仕方なく内視鏡検査を受けていらっしゃると思います。先にも述べましたが、最終的に確実な診断を行うためにも内視鏡検査を受けるように勧められた患者様には是非とも検査を受けて頂かなければなりません。

八千代医療センターの取り組み

検査の際、患者さんの苦痛を少しでも減らすよう、八千代医療センターでは検査予約センターにおいてビデオを用いた検査説明をさせていただき、具体的に検査の手順をご理解頂きながら患者さんの検査に対する不安を取り除くよう心掛けております。また、検査当日は、専任の看護師が検査前後での患者さんの状態を事細かに把握させていただき、検査が滞りなく行われるよう心身両面のサポートをさせて頂いております。

内視鏡検査室には検査後にお休み頂ける回復室や大腸内視鏡検査の前処置で必要となる専用トイレを備えており、患者さんが安心して検査が受けられるよう配慮されています。このような内視鏡室の環境整備に加え、過去の上部内視鏡検査で嘔吐反射^{*1}が非常に強かったり、あるいは下部内視鏡検査で腹痛が強かったような患者さんに対しては、経鼻内視鏡や麻酔を使って行う検査も選択して頂けるよう、患者さんの様々なニーズに合わせた検査が可能となっています。これら最新の検査や治療についてもお話しさせていただきます。

また、内視鏡検査を受けられた多くの患者さんが診断として告げられる「逆流性食道炎^{*2}や萎縮性胃炎（慢性胃炎）あるいは潰瘍やポリープ」といった身近な病気や話題のピロリ菌についても分かりやすくお話しさせていただきます。

今回の私の話を聴いて、一人でも多くの患者さんが"それじゃ、一度試しに内視鏡検査を受けてみようか"というお気持ちになって頂ければ幸いです。

※1 舌の奥に異物を入れたりして吐き気を催すことをという。

※2 胃の内容物（主に胃酸）が食道に逆流するために起こる食道の炎症です。



東京女子医科大学

八千代医療センター

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

